

単元名 きせつの言葉3

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。  
(2) 経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。  
(3) 語句の量を増やし、その季節らしさを表現した文章を書こうとする。

標準的な展開例

03010208\_001

【教材名】秋のくらし (下 P. 32～P. 33)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 秋のくらしに関わる言葉を探し、話し合う。 ★「秋」から思い浮かぶ言葉を集めよう。 ○「虫の声」を朗読し、学習課題を確認する。 ○秋らしさを感じることを発表する。</p> <p>○教科書(P. 33)を見て、秋らしさを感じる言葉について話し合う。</p> <p>2 秋を感じたものについて文章を書く。 ★秋を感じたものについて書こう。 ○身の回りで見付けた秋を感じたものについて、文章を書く。 ○書いた文章を交流する。</p>	<p>・社会科での地域学習と関連させるとよい。</p> <p>・給食の献立の中から秋らしい食べ物を探させたり、秋の行事に関することを挙げさせたりする。 【評】秋を感じるものを探す活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・教科書の言葉から知っていることを発表させたり、連想する言葉を出し合ったりさせる。 【評】秋らしさを感じる言葉や、連想したものを考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】秋を感じたものについて書く活動を通して、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】